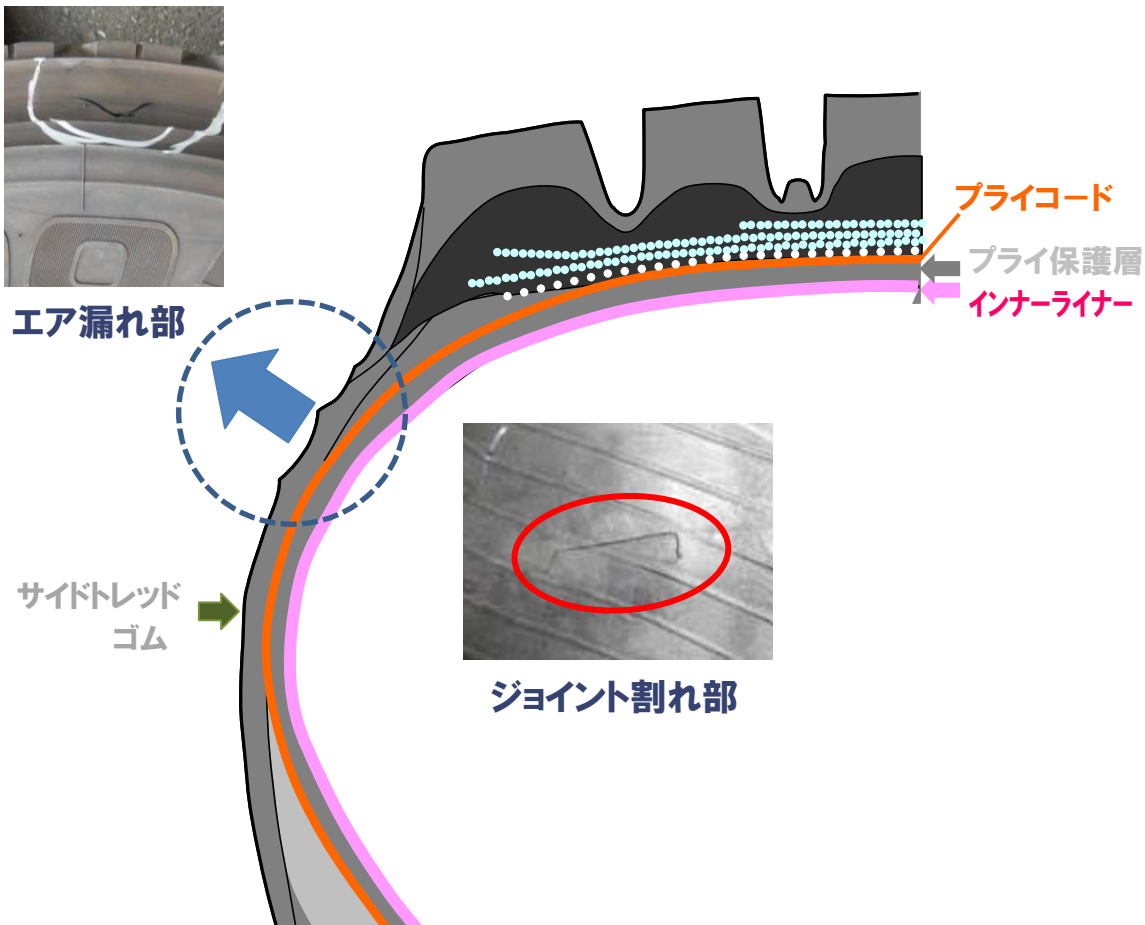


改善箇所説明図



●不具合の内容

栃木工場で製造されたトラック・バス用タイヤの一部において、タイヤ内面のゴム部材を変更後、製造工程の一部の問題により、このゴム部材のジョイント部の接着面強度が不足し、走行により割れが生じる場合がある。使用を続けると割れが進展し、その部分からサイドウォール部にエアが流入して滞留・膨れが発生し、最悪の場合、エア漏れに至り走行不能になるおそれがある。

●改善の内容

タイヤ内面のジョイント部を点検し、割れ及びその兆候が確認されたものは良品と交換する。なお、ジョイント部の割れの発生可能性には、製造設備や製造時期に応じ隔たりがあると考えられることから、発生予測に応じ、以下のとおりに分けて、改善措置を実施する。

<割れが生じている又は割れの発生可能性があるタイヤに係る措置>

- ① ジョイント部の割れ発生の懸念が高いタイヤ：平成25年11月8日開始
- ② ①よりもジョイント部の割れ発生の可能性が低いと予測されるタイヤ：平成26年1月22日開始

<市場での懸念を払拭するための措置との位置づけで実施する措置>

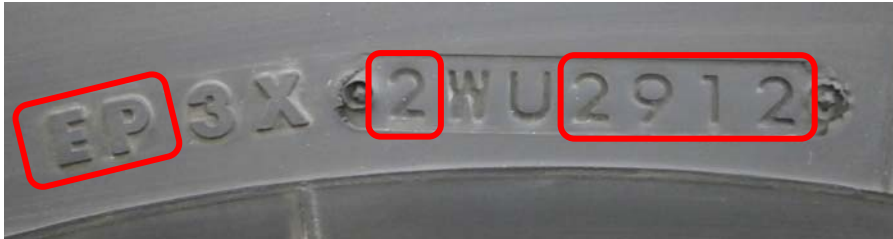
- ③ ①、②に比べジョイント部の割れ発生の可能性が更に低いと予測されるタイヤ：平成26年4月1日開始

(ただし、備考欄②、③のタイヤにおいて、タイヤ交換時等に同様の割れ及びその兆候が発見されたものは、それぞれの改善措置実施前であっても、良品と交換する。)

●識別

- ・リコール届出一覧表の備考欄①、②については、タイヤ側面部に刻印された製造番号11桁で識別。
備考欄③については、1～2桁が「EP」、5桁が「2」または「8」で、8～11桁が「0412～3213」のタイヤの内、備考欄①、②以外のタイヤ。

製造番号：タイヤ表側側面部に刻印（例）



- ・点検で正常と判定されたタイヤは、タイヤの両側面に焼印を押して識別する。
※識別の位置：商品名が「BRIDGESTONE」の場合は「B」の左下、
商品名が「FIRESTONE」の場合は「F」の左下

商品名が「BRIDGESTONE」の場合の例

